



平成21年
4月

タイトル『風模様』

撮影地：倉敷市水島インターに近い熊野神社の横にある池

吉井外科医院 吉井康哲先生

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



日本医療機能評価機構

●●● 新医療情報システムの導入 ●●●

2月15日から新しい医療情報システムが稼働しました。

昨年8月に導入が決まり9月から各ワーキンググループを中心に運用方法やマスターの整備を進めて来ましたが、3回のリハーサルを重ねようやく稼働へと至りました。

システムは富士通の製品で医事会計システムとオーダーリングシステム及び放射線、検査、薬局等の部門システムから成り立っています。オーダーリングとは、処方、検査、生理検査、移動（ベッド管理）、給食、放射線、リハビリ、透析、注射等を発生源入力で行い、原則電子保存となっています。今後は2年以内の電子カルテへの移行を目指しています。

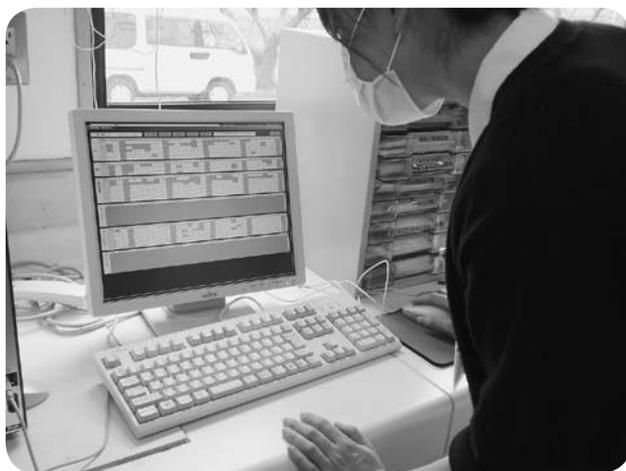
医療の安全性を確保するために、口頭指示や転記を減少させ、患者間違いや転記ミスなどのインシデントやアクシデントの防止のためバーコード確認や注射の三点チェックを導入しました。また業務処理時間が短縮され、患者様の待ち時間が短くなり、サービスの向上に役立っています。4月からは、レセプト電子媒体請求とオンライン請求を同時に実施することになり、準備を進めています。



再診の方は診察券を受付機に通してもらいます



バーコードで患者様の確認をします



予約状況を画面の一覧で確認する事ができます



レントゲンもパソコン上で詳細に見れるようになりました

赤磐医師会病院栄養サポートチーム (NST) 活動報告

「栄養サポートチーム (NST) 稼働施設」として認定されました。

平成17年の発足以来、定期的に活動を続けてきました。ならば、「施設認定」を取得しよう…ということで、「日本静脈経腸栄養学会 (JSPEN)」と「日本栄養療法推進協議会 (JCNT)」にNST稼働認定の申請書類を提出しました。3回目の今回は当院での活動内容と併せてご報告いたします。

■ 日本静脈経腸栄養学会からは、「NST稼働施設認定」(暫定)を受けました。認定期間は3年(2008年4月1日~2011年3月31日)です。

■ 日本栄養療法推進協議会への認定申請は大変でした。

認定基準を満たすよう、各部署手分けをして実施状況をまとめました。

- 1 施設長の命によって活動・運営が組織横断的に行われている。
- 2 NSTのチームの責任者が明確である。
- 3 医師、薬剤師、管理栄養士、看護師、臨床検査技師の参加は必須。平成20年度の構成メンバーです。

医 師 (外科:宮木 内科:大山)

薬 剤 師 (光藤)

管理栄養士 (上山・草谷)

看 護 師 (松村・井手・寿測・大橋)

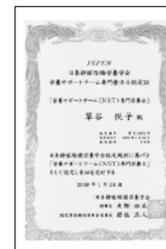
臨床検査技師 (鳥越)

- 4 日本静脈経腸栄養学会又は日本病態栄養学会で認定を受けている。
- 5 「NST専門療法士」又は「NSTコーディネーター」の資格を有することが望ましい。

- 6 定期的な回診及び検討会を実施している。
- 7 治療法、管理法に関するコンサルテーション機能がある。
- 8 栄養障害の可能性が高い症例を抽出し適切な栄養療法の実施
- 9 栄養管理及び指導内容を記録、保存している。
- 10 成績を集積し現行方法の改善機能がある。

「栄養スクリーニング」「NST診療記録」シートに加え、活動スケジュールの一覧表と、これまでのTPN・ENの症例数、褥瘡関係、院内感染発生率、抗生剤使用患者数、栄養指導件数、在院日数、アルブミン・コレステロール…などなどの推移のまとめ(まとめるって結構大変なことでした。)

- 11 褥瘡チームなど他の部門とのコラボレーションが図られている。褥瘡委員会とは、共通の患者さんを診ている場合も多いので、依頼もあり、勉強会を合同で実施することもあります。
- 12 病院食に関し、適切な指導・提言をしている。濃厚流動食の試飲もしています。



☆平成21年1月28日☆
日本静脈経腸栄養学会から栄養科2名
「栄養サポートチーム (NST) 専門栄養士」
の認定を受けました。



※当院で提供した嚥下障害のある方の為のお誕生日の祝い膳です。
おはぎ・魚ムース(ほうれん草・人参ペースト)他

▶ 平成21年3月16日「日本栄養療法推進協議会 (JCNT)」から「稼働認定」の知らせが届きました。今後もこれを励みに、よりよい医療の為にみんなで協力して頑張りたいと思います。

赤磐医師会病院 栄養サポートチーム



～接遇委員会～

接遇委員会 松岡紘一郎

「心から満足されるサービスを目指して」を目的に院内で接遇委員会を平成19年9月1日に発足しました。病气や怪我で不安を抱えた患者様が病院に来院されたとき、医療技術は勿論、心から安心・満足していただけるサービスが病院には求められています。

そこで接遇委員会としては、気持ちの良いあいさつ、患者様の思いに少しでも寄り添える対応を全職員ができる病院になるよう取り組んでいます。

今までに院内で取り組んできたことは、

- ・あいさつ強化月間（おあしす運動）（あかいわ運動）
- ・接遇研修の開催
- ・日々の小さな目標（プチ目標）を定め、ポスターを作成し院内へ掲示、啓蒙活動を行う。
- ・接遇に関する職員へのアンケート調査（自己評価・他者評価）

などです。



これからも患者様、来院される方々に心から満足して頂けるサービスを目指して接遇向上に向けて活動を行っていきたいと思います。

皆様のご意見ご指導をよろしくお願いいたします。

地 域 の 子 力 づ け

赤磐医師会病院と赤磐市消防本部の連携密に！！

～救急患者様のスムーズ且つ適切な受け入れと救急救命士の病院実習の重要性～

今回は赤磐市消防本部救急救命士の方をご紹介します。

「病院実習を終えて」

平成20年5月から6月にかけて資格取得後就業前の病院実習を赤磐医師会病院にて実施させて頂きました。

病院実習では救急患者の病態の理解を深めることができ、また傷病者が病院搬入後どのような検査や処置を受けるのか大変参考になりました。なにより、病院内がいかに多忙であるかということの思い知った次第であります。

救急救命士にとって病院選定は大変重要なものです。病院内での検査や処置を理解することは搬送先を決定させる上で必要不可欠なことです。我々救急救命士が現場での観察結果からどのような検査や処置が必要になるかを今まで以上にきちんと理解しておかなければならないと再確認することができました。

また、傷病者搬入時に医師や看護師との引継ぎがスムーズにできているのは、何より日頃から医師会病院の関係者スタッフの皆様との顔の見える関係があるからだと思えます。

この様に医療機関と消防機関とが密に連携していければ救命率の向上、予後の改善に必ず繋がるものと思えます。そのためにも救急隊は「現場での処置、的確な病院選定、迅速な搬送、救急車内の危機管理」が大変重要で日々訓練に勉強に勤めていきたいと思えます。



救急救命士が病院実習のお世話になることは医師、看護師の方々にとってかなりのご負担となることと思えますが、今後も病院実習の際は深いご理解とご協力をよろしくお願いします。

最後に、今回の実習にあたって医師、看護師をはじめご協力をいただきました多くの方々に心からお礼申し上げます。

赤磐市消防
救急救命士 もりした 森下 みきひろ 幹弘



若草ケーキ

(カルシウムの豊富な小松菜を使って)

作り方

- ①小松菜は生のままざく切りにし、Aの材料をミキサーにかける。
- ②なめらかになったらボウルにあけ、B(合わせてふるっておく)を入れ、サックリ混ぜ合わせる。
- ③うすくサラダ油(分量外)を塗った型に流し入れ、蒸し器で10~15分中火で蒸す。
- ④生クリーム7分だてにし、ヨーグルトと砂糖を加えヨーグルトクリームを作る。
- ⑤蒸しあがったら粗熱を取り、ヨーグルトクリーム、フルーツで飾る。



材料 (21cmリング型1台分)

- A
- 小松菜 100g (1/2束)
 - 卵 2個
 - サラダ油 大さじ3
 - プレーンヨーグルト 50g
 - 砂糖 50g
 - レモン汁 大さじ1
- B
- 小麦粉 140g
 - スキムミルク ... 大さじ3 (18g)
 - ベーキングパウダー ... 小さじ1
 - 重曹 小さじ1
- ヨーグルトクリーム
- 生クリーム 100g
 - プレーンヨーグルト ... 150g
 - 砂糖 30g
 - フルーツ 適宜

(1人分) 1/8個 フルーツは除く

- エネルギー 244kcal
- たんぱく質 5.0g
- 脂質 12.5g
- カルシウム 124mg
- コレステロール 71mg
- 食塩相当量 0.3g

※ポイント

蒸す際には中火、蒸しすぎには要注意(色が悪くなります)。生地を竹串でさしてみて、何もついてこなければ出来上がり。
カルシウムは骨や歯を丈夫にし、骨粗鬆症を予防する上で、欠かせない栄養素です。

☆カルシウム含有量☆

牛乳 (100ml)	スキムミルク (18g)	小松菜 (100g)	法連草 (100g)
110mg	198mg	170mg	49mg

~ j -milk magazine 参照~

ポエムコーナー

優しい心

人に親切にされるとうれしい
うれしくて涙が出る
そんな自分がある
共に生きるって素敵なこと
今まで当たり前だった現実に
「さらば」をしたい
そしてもっともっと自分を強く磨く人間になりたい
いつも「優しい心」を持つことを決めた
心の色はピンク色

黒田 秀章

poem

あしがき

- コ ミュニケーション(対話)
- ス マイル(笑顔)
- モ ビリティ(機敏性)
- ス キル(技術)

今年も病院東側、砂川沿いの桜が見事に咲いています。地域の方々がとても大切に育てていらっしゃいます。桜の花をみると人々は自然と笑顔になれます。新年度に向けて、勇気がわきます。不安材料の多い昨今ですが、一時でも桜のロードをゆっくり歩いてみませんか。

(編集部)

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946

E-mail: akaiwahp@gamma.ocn.ne.jp http://www12.ocn.ne.jp/~akaiwahp/

発行日 平成21年4月15日

